

各位

三井住友信託銀行株式会社

ジェンダーギャップ解消と女性管理職の自律的キャリア形成に向けた
企業横断型「クロスメンタリング」参画に関するお知らせ

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:米山 学朋、以下「当社」)は、出光興産株式会社(代表取締役社長:酒井 則明)、東京海上日動火災保険株式会社(取締役社長:城田 宏明)、帝人株式会社(代表取締役社長執行役員:内川 哲茂)、株式会社リコー(代表取締役 社長執行役員:大山 晃)、参天製薬株式会社(代表取締役社長 兼 CEO:伊藤 毅)、野村不動産株式会社(代表取締役社長:松尾 大作)、および三菱マテリアル株式会社(取締役社長:田中 徹也)の計8社で、女性管理職の自律的キャリア形成およびジェンダーギャップの解消を目的とした企業横断型プログラム「クロスメンタリング」を実施することをお知らせします。

1. 「クロスメンタリング」の概要と目的

「クロスメンタリング」とは、所属企業の枠を超え、異なる企業の経営幹部が「メンター(助言者)」となり、女性管理職である「メンティ(助言を受ける立場)」に対してキャリア形成を支援するプログラムです。本プログラムは、以下の3点を主な目的としています。

- (1) メンティの成長:自社とは異なる企業風土や経験を持つメンターとの対話を通じ、心理的安全性を確保しながら内省を深め、多角的な視点から視野拡大・視座向上を図り、自律的なキャリア形成に繋げる。
- (2) メンターの意識変革:経営層が他社の女性管理職の現状や課題に触れることで、自身のアンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)に気づき、多様な人材が活躍できる組織づくりへの理解を深める。
- (3) 企業間プラットフォームの構築:業界の垣根を超えた女性管理職同士のネットワークを構築し、日本社会全体のジェンダーギャップ解消を加速させるプラットフォームを目指す。

2. 当社参画の背景

当グループは、パーパスである「託された未来をひらく」のもと、DE&I(ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン)を経営戦略の重要課題と位置づけています。当社では2021年度より、役員が女性社員のキャリア形成を支援する「サポーター役員制度」を導入し、着実な成果を上げてきました。

2025年度と同プログラムへのトライアル参加を経て、2026年度は正式に参加企業として加わることで、社内だけでは得られない多様な経験や知見を還流させ、次世代の女性リーダー育成を一層強化していきます。

3. 本件の概要

実施期間	2026年5月25日～2026年12月2日
参加企業	三井住友信託銀行株式会社 出光興産株式会社 東京海上日動火災保険株式会社 帝人株式会社 株式会社リコー 参天製薬株式会社 野村不動産株式会社 三菱マテリアル株式会社
参加人数	74人(メンター37人、メンティ37人)
プログラム内容	計3回の個別メンタリングおよび集合研修、メンティ同士のネットワーキング(リトリート等)、メンター(経営層)による意見交換会・懇親会、8社共創企画

当社は、今後も志を同じくするパートナー企業とともに、多様な人材が互いに学び合い、高め合う環境づくりを通じて、持続可能な社会の実現と企業価値の向上に貢献していきます。

以上